

令和元（2019）年度レセプトデータ等分析結果報告書の概要について

健康増進課・国保医療課

1 目的

県と市町が一体となって、生活習慣病予防対策を推進するため、市町及び二次保健医療圏ごとの健康課題を明らかにする。

2 主な内容

- ・栃木県の保健・医療の現状
- ・二次保健医療圏の現状
- ・特定健康診査受診状況と医療費の分析
- ・生活習慣と医療費の分析

3 結果概要

(1) 栃木県の健康課題

ア 平均寿命、健康寿命、死因別標準化死亡比等から判断した本県の健康課題

死亡数が多く標準化死亡比の高い脳血管疾患、心疾患及び腎不全への対策が課題である。

イ 受療の状況

糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全の外来受療率が男性は45歳以上、女性は55歳以上の年齢階層で増加傾向であるが、透析の新規導入患者数はここ数年横ばいの状況であることから、重症化前の受診が増えている可能性がある。治療を要する人が増えたのか、健診を契機として適切な治療を開始する人が増えているのか分析を進める必要がある。

ウ 国民健康保険の医療費及び健診結果から判断した本県の健康課題

糖尿病、高血圧症、脂質異常症の外来医療費は男女共に全国より高い。

糖尿病は治療を受けていても悪化する者がいることから、栃木県糖尿病重症化予防プログラムに基づいた保健指導を、かかりつけ医と連携し、より積極的に行っていく必要がある。

肥満等のリスクがある者の割合や糖尿病・高血圧症の外来医療費が高く、これらの危険因子は将来的に循環器疾患や慢性腎臓病につながることから、糖尿病と高血圧症への対策が特に重要と考えられる。

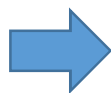
(2) 特定健診の受診状況及び生活習慣と医療費の関係

ア 特定健診受診回数と一人当たり医療費との関係

過去5年間の健診受診回数を3群に分け、その後5年間の疾病分類別医療費の関係を解析した。

○健診受診していない群における1人当たり医療費の高い疾病

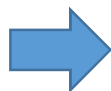
- ・慢性腎臓病（透析あり）（入院・外来）
- ・糖尿病（入院・外来）
- ・脳出血（入院）
- ・脳梗塞（入院）



健診未受診者は、糖尿病や高血圧症が重症化している可能性がある。

○健診受診している群における1人当たり医療費の高い疾病

- ・高血圧症（外来）
- ・脂質異常症（外来）



健診を契機に、高血圧症等の外来治療が開始される等、受療行動に結びついている可能性がある。

【今後の課題】特定保健指導の影響を含めたより詳細な検討や分析を行う必要がある。

イ 生活習慣と生活習慣病医療費との関係

体重増加や歩行速度、食生活等の生活習慣が、10年後の生活習慣病の医療費発生に関与している可能性が示唆され、健康教育の必要性が分かった。

【今後の課題】経年で生活習慣の改善の有無、年齢構成の違い、特定保健指導の影響を考慮した更なる検討や分析が必要となる。